

仲間ができる。

ガクテンソク 奥田修二

僕の中学生時代はラジオと共にありました。好きな番組はカセットテープに録音して、何回も聴き直しているような、そんな中学生でした。

特に芸人さんのラジオが好きで、テレビでは明るい芸人さんが、ラジオでは裏の顔を見せてくれるんです。しかも、芸人さんはラジオのリスナーをすごく大切にしてくれて、ラジオを聴いたあとテレビでその芸人さんを見ると、まるで自分も仲間になったような気持ちになりました。

友達関係でも、同じテレビ番組を見ているもの同士より、同じラジオ番組を聴いてるもの同士の方が、絆が深かったと思います。

仲間ができる。それがラジオの力だと思いません。

僕は芸人になり、ラジオで発信する側にな

りました。街で「ラジオ聴いてますよ！」と
声をかけられると、とても嬉しくて、少し恥
ずかしいんです。その恥ずかしさは、きつと
家族や友人に変なことを聞かれてしまったと
いう感覚に近いと思います。

それはきつと、自分もリスナーさんたちと
仲間になれたからなのかもしれません。